



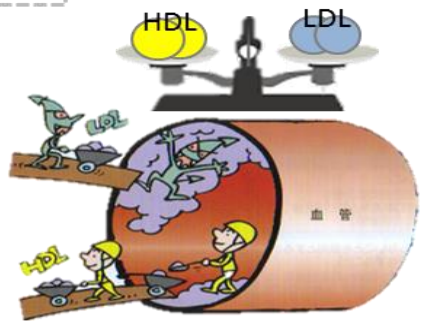
# 脂質異常症 (=高脂血症)



脂質異常症(高脂血症)とは、血液中のLDLコレステロールやトリグリセライド(中性脂肪)が多すぎたり、HDLコレステロールが少なくなる病気。

脂質異常症  
(高脂血症)

- 1.原発性高脂血症 **家族性高コレステロール血症**  
遺伝によるもので、生活習慣とほとんど関係なく起こる
- 2.二次性(続発性)高脂血症  
他の病気や薬が原因となって起こるタイプ
- ※高LDLコレステロール血症  
動脈硬化に関係が深いLDLコレステロールが高い
- ※低HDLコレステロール血症  
動脈硬化を防ぐ働きを持つHDLコレステロールが低い
- ※高トリグリセライド血症  
動脈硬化および、急性すい炎 ともに関係がある中性脂肪が高い



**脂質は体の機能を保つために大切な働きをしています！**  
コレステロールは、細胞の材料・ホルモンや胆汁の材料に。  
中性脂肪は糖やタンパク質の2倍以上の熱量を出すエネルギー源。

脂質は、食事から体内に吸収されるものと、肝臓や腸などでつくられるが、体内のコレステロールのうち食物から吸収される量は、体内で作られる量の1/3くらい。  
健康な状態であれば、コレステロールを多く含む食事を摂っても体内で作られるコレステロール量が減る為、体内コレステロール量は一定に保たれる。



食事からのエネルギーのうち、使いきれずに余ったものは、肝臓でトリグリセライド(中性脂肪)に変えられ血液中を移動し、皮下脂肪や内臓脂肪として蓄えられる。



**脂質異常症(高脂血症)の診断基準値(空腹時採血)**

・LDL(悪玉)コレステロール	→ 140mg/dL以上	→ → 高LDLコレステロール血症
	→ 120mg~139mg/dL	→ 境界域高LDLコレステロール血症
・HDL(善玉)コレステロール	→ 40mg/dL未満	→ 低HDLコレステロール血症
・トリグリセライド(中性脂肪)	→ 150mg/dL以上	→ 高トリグリセライド血症